



教科における探究的な学習の充実

実践編



商業科(財務会計Ⅰ)

1 単元 「財務諸表分析」(第1学年)

2 単元の目標

- (1) 財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) 財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析して表現する力を養う。
- (3) 財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析して表現している。	財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

4 単元の指導と評価の計画

●指導に生かす評価 ○指導に生かすとともに記録に残す評価

時間	問い・主な学習活動〔評価方法〕		評価		
			知	思	態
1	問い(学習課題)	財務諸表分析の意味やその方法とは?	●		
		財務諸表分析の意味とその方法や種類について理解する。			
2	問い(学習課題)	安全性分析・収益性分析とは?	●		
		関係比率法による分析のうち、安全性分析と収益性分析について理解する。			
3	問い(学習課題)	成長性分析とは?	○		
		関係比率法による分析のうち、成長性分析について理解する。〔小テスト〕			
4	問い(学習課題)	構成比率法、趨勢法、実数法による分析とは?	●		
		構成比率法、趨勢法、実数法による分析について理解する。			
5	問い(学習課題)	財務諸表から読み取れることは?		●	●
		同一企業の期間比較、同業他社比較から読み取れることを考察し、ワークシートに表現する。			
6 ~ 11	問い(学習課題)	財務諸表から読み取ることができる企業の実態とは?		○	○
		EDINETから取得した財務諸表を基に、企業の実態を分析し、考察したことを分かりやすく表現する。〔ワークシート・振り返り〕			
単元 終了後		ペーパーテスト	○	○	

探究的な学習

《 本単元における探究的な学習について 》

財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析して表現する力を養うことを目的として、本単元の6~11時間目では、「財務諸表から読み取ることができる企業の実態とは?」という問い(学習課題)に対して、探究的な学習の過程を設定した。このように、主体的に課題を追究できるようにすることで、商業科として目指す資質・能力の育成を図った。なお、学習指導要領解説にも、財務指標の概念及び収益性、成長性、安全性の面から企業の実態を分析する方法について扱い、財務指標の具体的な例を用いて、同一企業における期間比較や同業他社比較など財務諸表を分析する学習活動が示されている。

5 学習活動の実践と指導のポイント

1～4時間目

財務諸表分析の意義や種類、企業の財務諸表を入手する方法や指標値の算出方法など、基本事項を説明し、財務諸表分析に関する基本的な知識を身に付ける時間とした。

5時間目

前時まで身に付けた知識を活用して、財務指標から読み取れたことや考えたことなどについて、グループで共有し、ワークシートにまとめる時間とした。その際、財務指標を基に収益性、成長性、安全性の面から企業の実態を分析する見方や、同一企業における期間比較、同業他社比較など、分析の具体的な例を用いて考察する活動を設定したことにより、概念的な理解を深める展開とした。

6～11時間目 探究的な学習

探究的な学習の過程

6時間目

① 目標の確認



② 課題設定



③ 企業の選定



④ 情報収集



7時間目

⑤ 財務指標値の算出



8時間目

⑥ 財務諸表分析



9時間目

⑦ 発表準備



10・11時間目

⑧ 発表



⑨ 振り返り

6時間目 [探究的な学習の過程①～④]

この時間の最初に、探究的な学習の目標を、ループリック(p.5の6を参照)を用いて確認する場面を設定した。その後、「財務諸表から読み取る企業の実態とは？」という問い(学習課題)を設定し、ガイダンスプリント(p.3を参照)を基に、探究活動の概要や注意事項を確認し、探究的な学習の見通しをもつ時間を設定した。企業の選定にあたっては、各自が企業の情報を事前に調べ、グループ内で協議し、一つの企業を選定する展開で進めた。企業選定後には、その企業に関する追加情報を集め、Microsoft Teams上のExcelファイルに入力して共有できるようにした。

第1学習時間目【探究的な学習】ワークシート		第2学習時間目【探究的な学習】ワークシート																																																																																																																																																															
<p>【財務諸表から企業の実態を知ろう】 ～財務諸表分析して企業の実態を分かりやすく伝えよう～</p> <p>1. 企業の基本情報</p> <table border="1"> <tr><td>会社名称</td><td>業種</td></tr> <tr><td>通称</td><td></td></tr> <tr><td>本社所在地</td><td>業種別のシニア企業</td></tr> <tr><td>経営戦略</td><td></td></tr> <tr><td>2020年の取り組み</td><td></td></tr> <tr><td>過去の業績</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> </table> <p>2. 過去5年間の数値</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr> <tr><td>売上高</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>営業利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>経常利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>純利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>株主総数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>3. 安全性分析</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr> <tr><td>流動比率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>速動比率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>自己資本比率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>負債比率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		会社名称	業種	通称		本社所在地	業種別のシニア企業	経営戦略		2020年の取り組み		過去の業績		その他		項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	売上高						営業利益						経常利益						純利益						株主総数						指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	流動比率						速動比率						自己資本比率						負債比率						<p>4. 収益性分析</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr> <tr><td>売上高総利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>売上高営業利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>売上高経常利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>売上高純利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>営業活動利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>投資活動利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>経常活動利益率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>5. 成長性分析</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th></tr> <tr><td>売上高成長率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>営業利益成長率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>経常利益成長率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>純利益成長率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>6. 分析結果</p> <p>安全性の分析で分かったこと</p> <p>収益性の分析で分かったこと</p> <p>成長性の分析で分かったこと</p>		指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	売上高総利益率						売上高営業利益率						売上高経常利益率						売上高純利益率						営業活動利益率						投資活動利益率						経常活動利益率						指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	売上高成長率						営業利益成長率						経常利益成長率						純利益成長率					
会社名称	業種																																																																																																																																																																
通称																																																																																																																																																																	
本社所在地	業種別のシニア企業																																																																																																																																																																
経営戦略																																																																																																																																																																	
2020年の取り組み																																																																																																																																																																	
過去の業績																																																																																																																																																																	
その他																																																																																																																																																																	
項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																																																																												
売上高																																																																																																																																																																	
営業利益																																																																																																																																																																	
経常利益																																																																																																																																																																	
純利益																																																																																																																																																																	
株主総数																																																																																																																																																																	
指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																																																																												
流動比率																																																																																																																																																																	
速動比率																																																																																																																																																																	
自己資本比率																																																																																																																																																																	
負債比率																																																																																																																																																																	
指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																																																																												
売上高総利益率																																																																																																																																																																	
売上高営業利益率																																																																																																																																																																	
売上高経常利益率																																																																																																																																																																	
売上高純利益率																																																																																																																																																																	
営業活動利益率																																																																																																																																																																	
投資活動利益率																																																																																																																																																																	
経常活動利益率																																																																																																																																																																	
指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																																																																																																																												
売上高成長率																																																																																																																																																																	
営業利益成長率																																																																																																																																																																	
経常利益成長率																																																																																																																																																																	
純利益成長率																																																																																																																																																																	
<p>7. 期間比較・同業他社比較</p> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="4">当該企業</th><th colspan="4">同業他社</th></tr> <tr><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th></tr> <tr><td>売上高</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>営業利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>経常利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>純利益</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>期間比較・同業他社比較から分かったこと</p> <p>※4四半期の数値の推移が一目で把握できる比較表を、数値の傾向も合わせて記入しよう</p> <p>分析の結果</p> <p>分かったこと</p> <p>8. 業界市場や経済の動向</p> <p>業界市場の動向</p> <p>経済の動向</p> <p>9. まとめ</p>		指標	当該企業				同業他社				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	売上高									営業利益									経常利益									純利益																																																																																																																			
指標	当該企業				同業他社																																																																																																																																																												
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																																																																																																									
売上高																																																																																																																																																																	
営業利益																																																																																																																																																																	
経常利益																																																																																																																																																																	
純利益																																																																																																																																																																	

ワークシート (Teams上でExcelファイルを共同編集)



◎指導のポイントと生徒の様子◎

生徒が活動への見通しをもてるよう、授業の最初にルーブリックを使う目的や判断基準の意味などを丁寧に説明した。

グループで企業を選定する際には、単に興味・関心があるという理由だけでなく、景気や経済動向に着目し、日常生活との関連も踏まえながら、選定の理由を示すように促した。また、企業の情報を収集する際には、分担して、できるだけ多くの情報を収集するよう指導した。その際には、ガイダンスプリントに示された、インターネット上の情報検索サイト、新聞、図書などを参考にするよう促した。

生徒は、各自が選んだ企業に興味をもった理由を説明し、意見交換した上で、グループとして分析する企業を選定していた。

第3-2章 財務諸表分析【探究的な学習】ガイダンスプリント

「財務諸表から企業の実態を知ろう」

～財務諸表分析して企業の実態を分かりやすく伝えよう～

1. 探究活動の目標点と注意事項

①分析の方向性
教科書P216ページを参考に外部・内部どちらの視点で分析を行うか考えましょう。

②財務諸表分析の方法
教科書P216ページに分析の方法があるので、確認しましょう。比較は下記の2つの方法があります。選定企業の期間比較と同業他社比較を行って分析してみましょう。

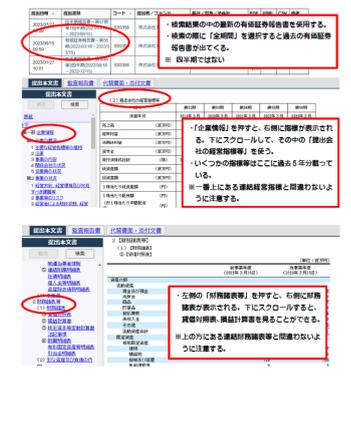
期間比較	企業1社を選び、前期以前と当期の比率を比較する。
同業他社比較	同じ業種の企業を2社選び、2社の比率を比較する。

③ワークシートとまとめの参考検索サイトや文献等

業種検索 「DDB企業サーチ」
企業情報 「四半報 オンライン」※無料提供はされないところもあり
企業情報検索 「Udata」※財務諸表は速報と個別別に注意してください。
新聞や図書検索 書籍と特別録の要目書(2巻)に「N1(コーポレート)」「新選コーポ」があります。

④有価証券報告書の入手方法
財務諸表を入手する方法は教科書P264を参考にしてください。企業のホームページにも掲載されています。
有価証券報告書は、「EDINET」で入手できます。インターネットで「EDINET」を検索しましょう。【提出者/発行元/ファンド】に企業名を入力して検索します。





・結果一覧の中にある有価証券報告書を使用する。
・結果一覧に「全開」を選択すると各年の有価証券報告書が見える。
※ 四半期ではない

・左側の「財務諸表」を押すと、右側に財務諸表が表示される。下にスクロールして、その中の「損益計算書」を押す。
・いくつかの指標値はここに表示されている。
※一番上にある連結財務諸表と関係のないように注意する。

ガイダンスプリント

【生徒の企業選定理由の記述例】

- 飲料メーカー
普段よく飲んでいる飲料品の値上げニュースを見て、今後の売上高や利益の変化が気になったから。
- 外食産業
円安で物価が上昇し続けている中、なぜ売上高が業界1位なのか、その要因となる企業戦略についてもっと知りたいと思ったから。
- 玩具メーカー
幼少期に遊んでいた玩具に思い入れがあり興味をもち、さらに調べるうちに社風やSDGs達成のための取組に魅力を感じ、今後の成長に期待ができると感じたから。

7時間目【探究的な学習の過程⑤】

この時間は、財務諸表から得た数値から、各財務指標値の計算を行う時間とした。ガイダンスプリントを参考に、有価証券報告書などを入手し、グループ内で役割を分担して各指標値を算出し、Excelファイルに入力する展開とした。入力した数値は、Teams上で共有できるようにした。



◎指導のポイントと生徒の様子◎

ガイダンスプリントに、財務諸表を入手する方法や、EDINETから有価証券報告書を入手する方法、その際の注意点などを具体的に示すことで、生徒はプリントを見直ししながら、指標値の算出に必要なデータを取得することができていた。

また、Teams上のExcelファイルに情報を入力したことで、生徒同士で確認しながら作業を進めることができた。さらに、教師も各グループの進捗状況を把握し、グループ内の対話を促すなどの支援を行うことができた。

あるグループでは、計算した財務指標の数値が、教科書に示されたものに比べて大きいことに疑問をもち、グループで意見を交換する中で、業種や業態によって望ましいとされる数値が異なることに気付いた。このように、生徒は、唯一の答えがない問いに戸惑いながらも、計算した財務指標の真偽を判断するため、他者と確認を行ったり、疑問点を話し合ったりするなどして協働的に情報収集や分析に取り組んでいた。

8時間目 [探究的な学習の過程⑥]

この時間の最初に、前時までに取り組んだ財務指標の計算結果や、情報収集した内容を基にグループ内で意見交換を行い、安全性、収益性、成長性の観点ごとに、財務諸表から読み取れたことを考察する場面を設定した。その後、グループで重点的に分析する指標を選び、期間比較や同業他社比較を行い、その分析結果を業界市場や経済の動向、選定企業の新戦略などと関連付け、気付いたことをワークシートにまとめる展開で授業を進めた。

◎指導のポイントと生徒の様子◎

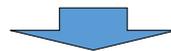
財務指標から読み取れたことを安全性、収益性、成長性の観点ごとに考察したり、期間比較について、一般的な指標値との比較や同業他社との比較などの複数の観点から考察したりできるよう、ワークシートの構成を工夫した。また、全ての財務指標を用いて考察することは難しいため、分析する指標を絞り込むことや、同業他社比較では直近の3年間の指標に絞って分析すること、業界市場や経済の動向などを踏まえることなど、根拠に基づいて分析するよう促した。

生徒は、期間での数値の推移や、一般的な指標値との比較、同業他社との比較などから、なぜそのようになったのかを、コロナ禍などの社会情勢の変化と関連付けながら多面的・多角的に分析していた。また、数値の分析から考えたことを言語化することの難しさを感じながらも、グループで議論しながら結論を導き出そうと、粘り強く学習に取り組んでいた。

【グループの考察過程の例】

〈期間比較・同業他社比較から分かったこと〉

分析の観点	数値の変動	一般的な指標値や同業他社との比較
分かったこと	<ul style="list-style-type: none"> 流動比率は約100%で経年変化が少ない 負債比率が約100%から約200%に上昇した 固定比率が約150~約200%とかなり高い 	<ul style="list-style-type: none"> 当座資産の割合が高く資金面の安全性が高い 感染症等への対応によって借入金が増加した 航空機の金額が高く固定比率が高い



業界市場や経済の動向を踏まえて

〈まとめ〉

- ・同業他社と比べても固定資産が高い
- ・航空業界では航空機をリースすることが増えているが、この企業は航空機のリース率が低い
- ・他社と比較して航空機の金額が高い

9時間目 [探究的な学習の過程⑦]

この時間は、PowerPointを用いたスライドと発表原稿を作成し、発表の準備をするための時間とした。

◎指導のポイントと生徒の様子◎

ガイダンスプリントには、発表の方法や注意点、参考文献の引用方法などを示し、生徒が適宜、確認しながら主体的に活動できるようにした。また、生徒が発表内容やその構成を考える際の参考として、ガイダンスプリントにスライドのひな形をあらかじめ教師が示し、チーム内で共有できるようにした。さらに、発表の準備を進める際には、ループリックを確認しながら発表内容を検討するよう促した。

生徒は、全員が発表に関われるように、グループ内で役割分担をして準備を行っていた。



第3-2章 財務諸表分析【探究的な学習】ガイドブック

2. 分析・考察の指針の注意事項

教科書には一般的に読みとられる数値が示してありますが、全ての指標に当てはまるものではありません。指標によって異なる指標は選んでいます。自分たちが選んだ企業の指標でほんのりながら、調べてみましょう。

- ・項目全体の数字だけでなく、指標によってさまざまな変動要因が考えられます。また、この変動要因は指標によって金額が大きいなどの特徴がありますので、財務諸表で気づいたことを企業への問いかけとします。
- ・分析の企業は、資料にあるものだけではなく、有価証券報告書には知らない情報もあります。教科書に載っていない情報も活用して構いません。
- ・分析・考察する際には、分類してください。安全性の分析指標、収益性の分析指標、成長性の分析指標、ワークシートへの入力欄などと分類して効率よく進めましょう。

3. まとめる際の注意事項

- ・企業を経営方針や経営戦略、新商品の開発、売場など、企業の動向や経済の動向にも触れて分析を行うとより深みが出て良いです。
- ・スライドのまとめ方の基本は下記に示した通りです。
- ・発表時間は5分以内とします。スライドの枚数は制限はありません。
- ・スライドのアニメーション等は発表の邪魔ではありません。デザインやアニメーションの活用は自由です。内容を充実させてください。
- ・まとめる際、自分で考えた意見や考察だけでなく資料では、資料や図表などに詳しく載っていない点、そこで、参考文献（書籍やWebサイトなどの外部のデータ）を引用することで、資料に書かれていない、資料自体の信頼性を上げることが出来ます。参考文献を引用した場合は、下記のように引用元を記載してください。
- ＜引用の参考文献＞
(PDF)URL: <https://api-fab.presentation-lab.com/presentation/199/>
(Web)URL: <https://www.presentation-lab.com/>
- ・まとめる際は、グループ内で作業をしてください。PowerPoint作成、発表原稿の作成、調べた情報、分類して効率よく進めましょう。

【スライドのまとめ方（参考）】

企業名)○○○○○株式会社

グループ名)○○○○

発表)○○○○

企業選定の理由

- ・○○○○が○○○○
- ・○○○○が○○○○

企業の概要

- ・事業内容○○○○
- ・事業の強み○○○○
- ・競合○○○○

安全性の分析

- ・流動比率○○○○
- ・負債比率○○○○
- ・固定比率○○○○

収益性の分析

- ・営業利益率○○○○
- ・経常利益率○○○○

まとめ

- ・「○○○○」は「○○○○」であることがわかった。
- ・「○○○○」は「○○○○」であることがわかった。
- ・「○○○○」は「○○○○」であることがわかった。

ガイダンスプリント

4

10・11時間目〔探究的な学習の過程⑧⑨〕

この時間は、各グループが分析・考察した結果について全体に向けて発表する時間とした。そして、発表を聞きながら、他グループの発表内容の「よかった点」「改善点」「感想」「評価」をワークシートに記入し、互いの発表から気付いたことや学んだことなどを、全体で共有する展開とした。その後、自グループの分析結果を踏まえ、財務諸表分析から分かる企業の実態について個人でまとめ、ルーブリックを用いて自己評価を行う場面を設定した。最後に、探究的な学習や単元全体を通して学んだことを振り返る時間を設けた。

◎指導のポイントと生徒の様子◎

発表では、スライド表示用と発表原稿表示用の2台のタブレットを用いて発表するよう指示した。発表を聞く際には、自グループの発表内容や分析の視点と比較しながら、他グループの発表を聞くように促した。

生徒は、分析結果をグラフにしたり、具体的な企業の取組を紹介したりするなど、スライドや発表内容を工夫していた。さらに、他グループの発表を聞くことで新たな気付きを得たり、他グループと自グループの発表内容と比較し、どのような点がよかったか、改善点はどこかなどについて意見交換を行ったりして、学びを深めている姿が見られた。



6 探究的な学習における評価について

◎ルーブリックによる自己評価について

探究的な学習で用いたルーブリックでは、「財務諸表分析の妥当性」「考察・表現」「協働力」の3つの観点を設定した。学習前にルーブリックを示したことで、生徒の目指すべきゴールが明確になり、自ら考えたり、他者と協働したりして主体的に学習を進めることにつながった。単元終了時には、ルーブリックを用いて、活動を振り返りながら自己評価を行う場面を設定した。これにより、自分の学習を俯瞰的に振り返ることができた。また、自己評価の際にMicrosoft Formsを用いたことにより、生徒の回答データをスムーズに集計したり、分析したりすることができた。

◎「思考・判断・表現」の評価例

教師による評価は、振り返りシートの「財務諸表分析から分かる企業の実態について、自分が分析した企業を基に、企業戦略や経済の動向などを踏まえてまとめよ。」という課題に対し、Formsに入力した記述から、以下のような判断基準で行った。単なる事実や個人の感想の記述だけではなく、企業の成長可能性へ向けた提言や根拠に基づく展望などを具体的に記述しているものに関してはA評価とした。

探究活動ルーブリック（商業科）

	財務諸表分析の妥当性	考察・表現	協働力
S	各指標を求め、「安全性」「収益性」「成長性」の観点から企業の実態を分析し、企業の特徴や課題を捉えることができる	同業他社比較や期間比較を通して企業の実態について考察し、業界市場や経済の動向を根拠に、企業への提言や将来の展望を表現している	自ら進んで他者と関わり、自分の考えを主張したり、他人の意見を尊重したりしながら、積極的に協働することができる
A	各指標を求め、「安全性」「収益性」「成長性」の観点から企業の実態を分析し、企業の特徴を捉えることができる	同業他社比較や期間比較を通して企業の実態について考察し、業界市場や経済の動向を考慮し、分析結果を表現している	自ら進んで他者と関わり、他人の意見を尊重しながら、積極的に協働することができる
B	各指標を求め、「安全性」「収益性」「成長性」の観点から企業の実態を分析することができる	同業他社比較や期間比較を通して企業の実態について考察し、分析結果を表現している	他者と関わりながら、周りの意見を聞きながら、協働することができる
C	財務指標を求めることはできるが、企業の実態の分析が不十分である	企業の実態についての考察に客観性や根拠が薄く、適切に表現することができていない	他者と関わりようせず、自らの分担作業にしか取り組むことができない

自己評価に用いたルーブリック

「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
企業の実態について、財務諸表の分析結果を用いながら適切に表現するとともに、企業への提言や根拠ある将来への展望などを表現している。	企業の実態について、財務諸表の分析結果を用いながら適切に表現している。	企業の実態について、財務諸表の分析結果が示されておらず、適切に表現できていない。

【 B評価の記述例 】

○外食産業

コロナ禍においてはかなり売上が減少していたが、安全性分析では基準値を大幅に超えており、財政状態が安定している。コロナ禍を乗り越えてから、売り上げがコロナ禍前の3倍になるなど、今後さらなる躍進が期待できる。

【 A評価の記述例 】

○テーマパーク運営業

赤字回復のために様々な取組をし、黒字になったことが分かった。コロナ禍が落ち着き、運営が再開したこともあり、2023年に入ってから安全性、収益性、成長性の全てにおいて安定している。アフターコロナの需要の変化をしっかりと捉えられていることがV字回復できた一つの要因と考えられる。2023年の3月期の純利益が前期比2.2倍になりそうだと発表されており、純利益率が業界の平均値より高いことから、投資対象として優秀な企業であると考えられる。今後の成長がさらに期待できる。

7 授業者より ~実践の成果とこれからの方向性~

本実践では、企業選定、財務諸表分析、財務指標からの考察、企業への提案、発表の活動を通して、生徒が主体的に取り組み、生徒同士の対話の中で疑問点を解決しながら進められるように意識しました。最初は、分析結果が正しいのか、数値からどのように企業の実態を分析のかなど、疑問や戸惑いを見せる生徒もいましたが、生徒同士が対話を通して、協働的に学びを深めていく姿が印象的でした。



授業後の生徒の振り返りからも、生徒同士で協働して探究することで、他者の意見から気付かされることや新たな発見があり、そのことに面白さを感じていることが分かりました。また、課題の追究のためには、授業で身に付ける知識・技術が大切であることにも改めて気付いたり、より深く学びたいという意欲が高まったり、さらに今後探究してみたいテーマを見付けたりするなど、生徒の新たな一面を見ることができました。

財務会計の授業に関して、生徒が主体となる授業の展開を意識したり、ICTを活用しながら実践したことで、私自身がその利点に気付くとともに、生徒がこれまで以上に積極的に授業に取り組もうとする姿勢を感じ取ることができました。今後も、探究的な学びを通して、財務会計を実践的な学びにつなげながら、商業科の学習の楽しさや面白さを伝えることができるような授業を実践していきたいと思えます。

【 探究的な学習実施後の生徒の振り返り 】

- ・グループで対話を積み重ねることで、企業の実態について様々な視点が得られ、多くのことを知ることができた。高校生でも企業の分析ができるのだと分かり、自分が興味をもった企業についても分析してみたいと思った。
- ・今回、分析の値を有効に活用することができていなかったのが、会計についての知識を増やし、理解を深められるようにしたいと思った。また、厳しい財務状況下でも持ちこたえている企業や、売り上げが好調な企業の特徴についても探究したい。
- ・財務諸表分析を通して、企業の経営について触れることができた。自分から進んで企業の財務諸表を見たことがなかったので新鮮だった。また、財務諸表分析の結果を社会情勢と照らし合わせて読み取るのがとても面白いと感じた。

本実践で作成した資料は、栃木県総合教育センターWebサイトで閲覧及びダウンロードできます。また、他教科の実践についても紹介されていますので、ご覧ください。



【 問合せ先 】 栃木県総合教育センター 研究調査部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028(665)7204

